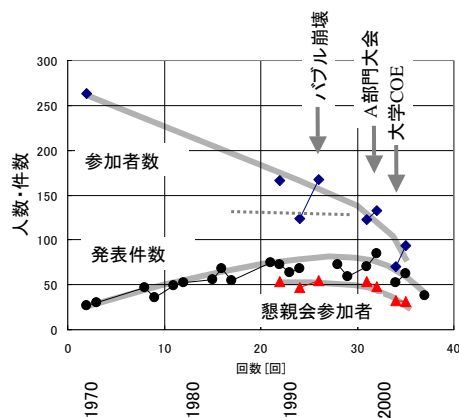




# シンポジウムを よくするために



## 開催規模の推移



参加者: 2000年頃から急減  
 発表件数: 2000年頃をピークに急減  
 懇親会参加者: 2000年頃から急減  
 最近では参加者数と発表件数が漸近

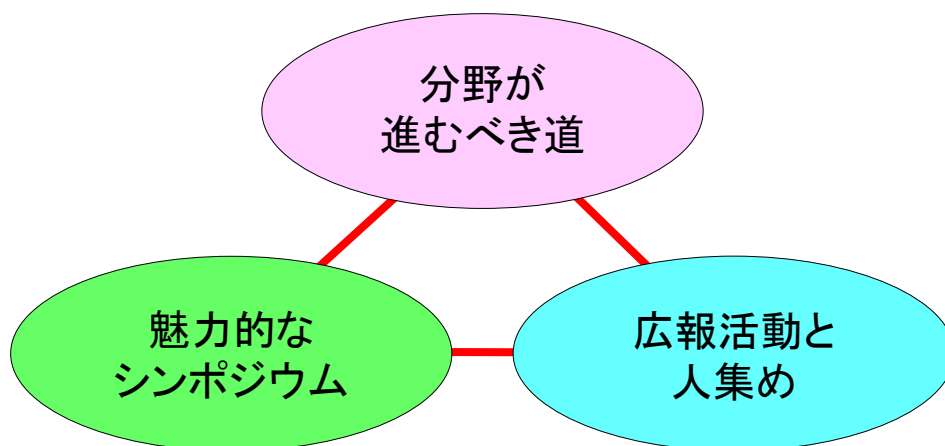
国際会議の翌年は落込む  
 国際会議の翌々年はやや持直す

大勢集めればよいとは云わないが  
 魅力がなくなってるなら問題だ。

## 参加者減少の背景は何か？

- ・ 周辺科学技術の激変  
→ 企業からの発表と聴講が急減。
- ・ 研究スキームがピラミッド型からネットワーク型へ  
→ ご威光と遺産にいつまで頼れる？
- ・ 大学院一般化で学生の就職先が分散  
→ 絶縁の虫が業界に来てくれない。
- ・ 似たような催しが増えすぎた  
→ 発表・聴講者の分散。  
Qualityと魅力の低下。
- ・ 研究者年齢構成の逆ピラミッド化で実行部隊が弱体化  
→ 物理的に動ける人がいない。

## 大切なことは何か



効果的・現実的・継続的な対策が必要

## 具体案は出せるか？

- ・ ハコものはこれ以上作らない。  
既設のハコの中身を統合・整理・改革  
足元を固めることが大事
- ・ 現在フラットに公募している演題にメリハリを。  
A部門大会・全国大会との差別化  
誘電絶縁材料研究会との差別化
- ・ 事務組織からの離脱  
技術委員会委員の活躍

## 具体案は出せるか？

- ・ 原点回帰しプロが発表する本物のシンポジウムに  
技術委員会や調査専門委がセッションを企画しを依頼  
議論に耐える高レベル魅力的な講演に限定  
企業からの参加の促進  
→発表件数は減少してもqualityを確保。
- ・ 若手のポスターや企業展示で活気づけたい。  
時間をとって詳細な議論  
原稿作成の時間短縮  
レベルの高低に関わらず参加可能  
→参加件数と多様性の確保。

## たとえばどうするか・・・企画

テーマを決めた企画セッション

分野連携セッション

産学連携成果報告セッション

企業の開発報告

若手研究者主体の相互訪問ポスターセッション

(Mutual Visiting Poster Session)

誘電絶縁材料展示ブース

## たとえばどうするか・・・人集め

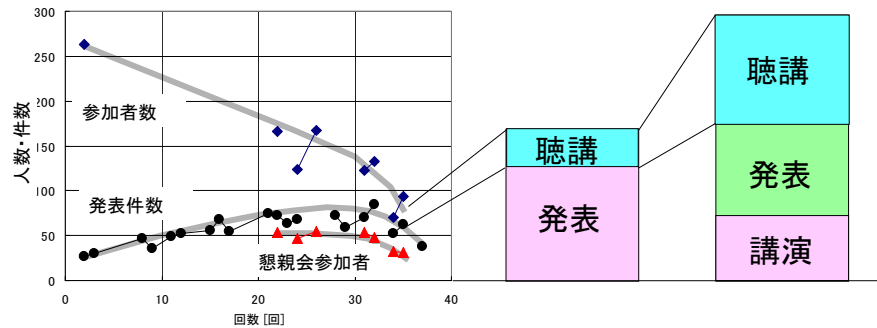
Reminderの送付

調査専門委員会メンバーは原則参加

ホームページの効率化

異分野の知人を勧誘

## この程度には盛り返したい これは私案



研究人口が減ってるので**発表件数の急増は期待できない。**  
内容をよくして**聴講者を増やす戦略が現実的？**  
企画ものの講演で聴講者を2.5倍  
MVPセッションで若手を取込み発表件数を1.2倍  
参加者総数120程度に持ち上げ維持するレベルが現実的？

## どんなシンポがいいの？

- ・問題を抱えてる人が**情報を求めて聴きにくる。**
- ・講演者と知り合って**議論ができる。**
- ・新しい研究の**発想が生まれる。**
- ・参加者の**視野が広がる。**
- ・日本の工業界の**戦略を議論する。**  
規格や国際情勢
- ・若い人の**活力が醸成される。**

.....